

業 務 委 託 契 約 書



- 1 物 件 名 平成 30 年度全国高等学校総合体育大会鈴鹿市開催競技大会会場設営等業務委託
- 2 履 行 場 所 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（鈴鹿市御薗町 1669 番地）他
- 3 履 行 期 限 平成 30 年 8 月 31 日（金）
- 4 業 務 委 託 料 金 円也
（うち取引に係る消費税及び地方消費税額）
金 円也
- 5 契 約 保 証 金 免除

上記の業務委託について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、次の条項によつて公正な委託契約を締結し、信義に従つて誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として、本書 2 通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自 1 通を保有する。

年 月 日

発注者 三重県鈴鹿市神戸一丁目 18 番 18 号

平成 30 年度全国高等学校総合体育大会鈴鹿市実行委員会

会長 末松 則子 印

受注者 住 所

商号又は名称

氏 名

印

(総 則)

第1条 受注者は、契約書記載の業務を契約書記載の履行期限内に完了し、契約の目的物（以下「成果品」という。）を発注者に引き渡すものとし、発注者は、その業務委託料を支払うものとする。

(委託業務の内容)

第2条 発注者が受注者に委託する業務の内容は、別紙仕様書に基づくものとする。

2 仕様書に明示されていないもの又はこれらに相互符合しないものがある場合には、発注者、受注者協議して定めるものとする。

(指 示)

第3条 受注者は、業務実施に関する必要な事項について発注者の指示を受けなければならない。

2 受注者の作成する業務工程表は、発注者に提出してその内容に対して了承を受けるものとする。

(権利義務の譲渡禁止)

第4条 受注者は、本契約によって生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、あらかじめ書面により発注者の承認を得たときは、この限りではない。

(業務内容の変更等)

第5条 発注者は、やむを得ない場合、業務の内容を変更し、又は履行期限の延長変更並びに業務を一時中止させることができるものとする。この場合において、履行期限または業務委託料を変更する必要があるときは、発注者受注者協議して書面によりこれを定めるものとする。

(履行期限の延長)

第6条 受注者は、その責めに帰することができない理由により履行期限までに業務を完了することが困難となったときは、遅滞なく、発注者にその理由を付してその旨を届け出なければならない。この場合において、発注者は、必要があると認めるときは、

履行期限の延長をすることができる。その延長日数は、発注者受注者協議して定める。

(検査及び引き渡し)

第7条 受注者は、業務を完了したときは、遅滞なく発注者に業務完了報告書を提出し、検査を受けて成果品を引き渡さなければならない。

2 発注者は、前項の届け出を受けたときは、その日から10日以内に検査を行うものとする。

(業務委託料の支払)

第8条 受注者は、第7条の規定により成果品の引き渡しをしたときは、所定の手続きに従って発注者に業務委託料の支払いを請求するものとする。

2 発注者は、前項の支払い請求を受理したときは、その日から30日以内に業務委託料を支払うものとする。

(契約の解除)

第9条 発注者は受注者が、次の各号の一に該当するときは、契約期間中であっても本契約を解除することができる。

(1) 受注者が本契約に定める義務を履行しないとき。

(2) 受注者が正当な事由がないのに業務に着手すべき期日を過ぎても業務に着手しないとき。

(3) 受注者が自己の責めに帰する事由により、契約の期限内に履行しないとき又は履行の見込みがないと明らかに認められるとき。

(4) 受注者が破産手続きの開始決定、再生手続きの開始決定、又は更生手続きの開始決定を受け、又は所在不明のとき。

(5) 前各号のほか、受注者が法令及び所定の財務規則に違反したとき。

(個人情報の保護)

第10条 受注者は、この契約による業務を行うにあたり、業務上知り得た個人情報及び発注者の秘匿事項の取扱いについては、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

(相互協力)

第 1 1 条 受注者は、発注者から委託された業務について発注者と緊密な連携をはかり、円滑に業務を遂行するものとする。

(委託業務等の調査)

第 1 2 条 発注者は、必要と認めるときは、受注者に対して業務の実施状況等について調査し、又は報告を求めることができる。

(契約外の事項)

第 1 3 条 この契約書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して定める。